

日本磁気共鳴医学会主導プロジェクト 脳梗塞における MRI 検査の標準化に関する研究
平成 20 年度第二回全体会議 議事録

平成 21 年 2 月 6 日 14 時 00 分～15 時 00 分 東京銀行協会ビルディング 19 階「クラブ関東」

出席者：五十嵐博中、井田正博、伊藤浩孝、宇都宮英綱、尾澤芳和、椛沢宏之、木村徳典、工藤
與亮、後藤信忠、近藤康洋、佐々木真理、佐瀬茂、七戸金吾、鈴木由里子、田岡俊昭、
高木亮、高野浩一、高橋哲彦、傳法昌幸、原田雅史、日向野修一、帆足正勝、前田正幸、
松井美詠子、松下明、松末英司、百島祐貴、山田恵、渡邊嘉之（五十音順、敬称略）

1) 議事録の確認

佐々木より、平成 20 年度第一回全体会議の議事録が提出され、承認された。

2) 国内外の急性期脳梗塞臨床試験の状況について

佐々木より、ECASS3, DAS2 の結果について報告があった。また、DIAS3/4 において MR/CT 灌
流画像がプロトコルから外れた点について説明があった。国内では標準化が進んでいるため、MR/
CT 灌流画像を用いた臨床試験が行われる可能性があり、今後とも努力していくこととした。

3) STIR Consortium, STIR1 project について

工藤先生より、標記プロジェクトの進捗状況について報告があった。既に画像データベースが
集積されつつあること、academic software, commercial software の順に精度検証が開始される予定で
あることが報告された。今後とも本プロジェクトに協力していくこととした。

4) 脳ドックのガイドライン 2008 の発刊について

佐々木より、脳ドック分科会によるエビデンスや草稿を掲載した標記ガイドラインが昨年 11 月
に発刊されたことが報告された。

5) 3 Tesla MRI FLAIR の至適撮像条件について

田岡先生より、3Tesla MRI における FLAIR の至適撮像条件に関するシミュレーション、ファン
トム実験の詳細な結果が報告された。TR は 10 秒以上が必須で、12 秒程度が望ましく、TI は 2,400
ms 程度が望ましいことが示された。また、至適撮像条件下でも 1.5 Tesla と同等の病変コントラス
トが期待できない可能性が指摘された。

6) その他

本プロジェクトは本年度が最終年度であり、本会議、および同日の MRP/CTP 研究会(本プロジ
ェクト共催)の開催を持って活動を終了することとした。

—散会—

(文責 佐々木)